

## 保全業務の課題とは

多くの製造業の中小企業において、製造設備の突然の故障による停止や、故障復旧までの時間の長期化が生産性を低下させるという課題がある。例えば、停止原因の解析に、「点検台帳」「故障台帳」「生産日報」等を過去データとつき合わせて確認する必要があり、時間と労力を要する。また、点検に対する知識やノウハウが特定の人に依存するために、点検業務が柔軟に実施できない。

## 課題解決のために

研究開発で実現するデータ収集結果をもとにした品質情報と、点検結果、故障履歴、稼働情報、生産情報などの情報を時系列で重ね合わせることで、設備に影響を及ぼす環境、機器・部品などの劣化傾向を分析する。また、不具合箇所への処置判断などを容易に導き出すことが可能となり、予防保全を実現できる。

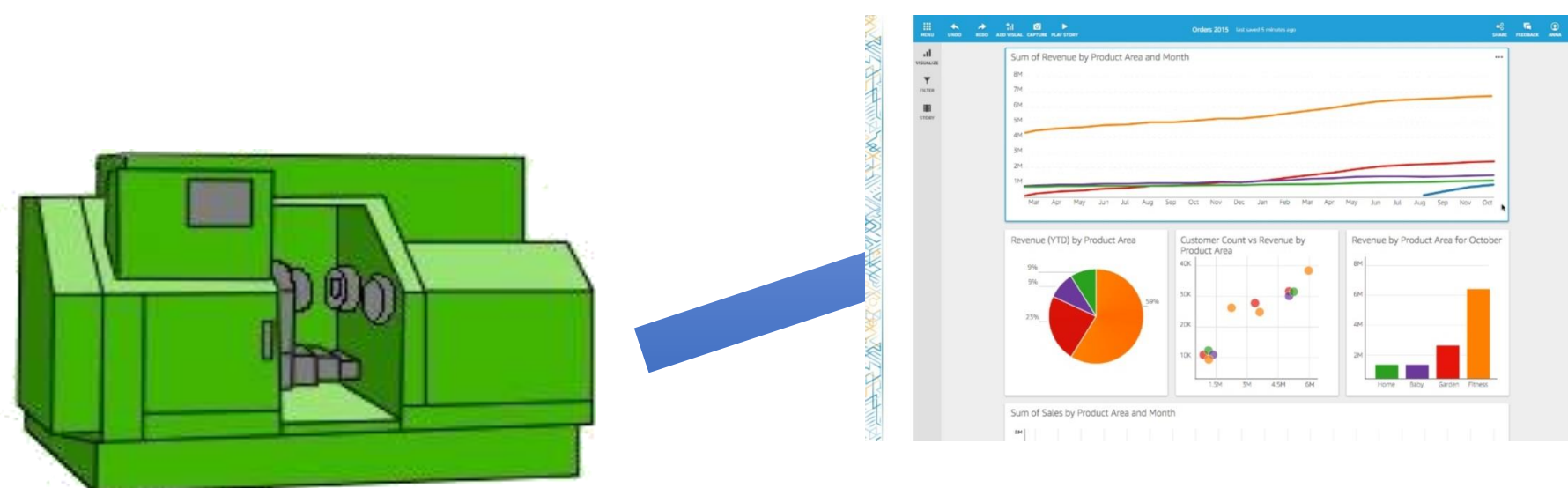
### 開発 4



- ・設備の日々の点検結果をオペレータが記録
- ・設備の異常発生時にオペレータが直感的に時点情報を記録



- ・設備の日々の運転状態、異常発生時の状況など情報と合わせて分析
- ・それらの記録情報を保全担当者が確認し、メンテナンスを実施することで予防保全も実現



- ・設備の日々の運転状態データを蓄積